

統計研修講義計画書

研修課程	統計専門課程 政策立案と統計	講義科目	GISを利用したビッグデータ等の政策活用事例	講義時間	2コマ
講師	小西 純 (公財)統計情報研究開発センター主任研究員				

※1コマ70分

講義のねらい

GISを利用したビッグデータ及びIoT等の政策活用事例について紹介することにより、以下の3点に関して理解が進むことを本講義のねらいとします。

- ①統計情報を用いて社会状況・地域経済状況を概観することにより、統計情報が地域における課題や施策の方向性を示せること。
- ②東日本大震災におけるGISやビッグデータの活用事例を紹介することにより、今後の災害・防災・減災対策を検討し実施していく上でGISやビッグデータが活かせること。
- ③自治体においてGISや統計情報が活用された事例を紹介することにより、自治体の施策にGISや統計情報を活かすこと。

指導項目と内容

指 導 項 目	内 容
1. GIS・ビッグデータの概要	「GIS」「ビッグデータ」の概要について説明します。 最初にGISについて、概要、活用される地図データ、主な機能について説明します。次にビッグデータについて、どのような利活用が期待されているのか、また活用事例について紹介します。
2. 統計情報からみた東北地方の概観	国勢調査をはじめとした様々な統計情報から、東北地方における人口の減少や世帯構造の変化と近年課題となっている空き家の増大について把握するとともに、それらの課題に対する自治体の対策について事例を紹介します。
3. 東日本大震災におけるビッグデータやGISの活用事例	東日本大震災におけるGISやビッグデータの活用事例を紹介することにより、今後の災害・防災・減災対策を検討し実施していく上でGISやビッグデータが活かせることについて説明します。
4. 自治体における統計情報やGISの活用事例と今後の行政施策への展開	自治体において統計情報やGISが活用された事例を紹介するとともに、今後、自治体の施策にGISや統計情報がどのように活かせるか説明します。

講義形態 指導方法	配布資料（パワーポイント資料）に基づく講義
受講に必要な 基礎知識等	特になし